



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信

平成25年11月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.131



たくさんの方で賑わいました！

11月10日（日）、高千穂町のJA家畜市場で「第6回農業まつり」、日之影町見立地区では「第29回水源の里見立渓谷紅葉まつり」が開催されました。

農業まつりは、農産物や地域文化を活かした地域の絆を次世代に繋ぐことを目的としたものです。

当日は、太鼓や踊りのステージ、農畜産物の販売など、魅力ある企画がいっぱい、あいにくの雨にもかかわらず、多くの参加者で賑わいました。

水源の里見立渓谷紅葉まつりでは、舞踊、歌謡ショー、民謡、カラオケ、餅まき、お楽しみ抽選会などの催しが行われました。町内外から参加された皆さん、見頃を迎えた鮮やかに色づいた木々に囲まれながら、まつりを楽しみました。



上位入賞をめざして！-知事が平成26年度全国茶品評会出品農家の皆さんを激励-

平成26年度全国茶品評会に出品する農家の皆さんを激励するため、河野俊嗣宮崎県知事が五ヶ瀬町を10月21日に訪問されました。

当日は、西臼杵地区茶業協会 小笠秀哉会長の茶工場に、高千穂町と五ヶ瀬町の出品者8戸が集まり、知事への茶工場の製



茶ラインの説明の後、釜炒り茶を飲みながら管内のお茶の生産状況や特徴等について意見交換を行いました。河野知事からは、「晩霜害へのしっかりした対策をお願いするとともに、上位入賞を目指して地域一体となってがんばっていただきたい」との激励の言葉がありました。

また、11月13日には、全国茶品評会に向けての出品者研修会を普及センターで開催し、出品者を中心に約20名の方が参加されました。

研修会では、今年度の京都大会に出品したサンプルを審査・分析し、上位入賞に必要な今後の対策について、県営農支援課と試験場から説明を行いました。本番に向け、西臼杵地域一体となって様々な取組を実施していく、上位入賞、産地賞を獲りにいきたいと思います！



「六次産業化・地産地消法」に基づく事業計画の認定について

標記の事業計画認定は、農林漁業経営の改善を図るために、生産者が自家産の生産物を一体的に加工・販売する計画（総合化事業計画）に対し、国が認定を行う制度で、平成22年度から実施されています。

今年度第2回目となる今回の認定は、県内で9件、うち県北地域で4件の認定があり、五ヶ瀬町の株式会社宮崎茶房が西臼杵管内で初の認定を受けました。宮崎茶房では、有機栽培した自家産のお茶を、釜炒りの製法を用いて新商品として開発し、販売を行う計画で、県農業振興公社の6次化講座（チャレンジ塾）にも参加し、事業計画達成に向けて取り組んでいく予定です。



高千穂町農産物加工連携会議で九州食の展示商談会に出展

高千穂町内の4加工グループで構成している「高千穂町農産物加工連携会議」では、11月20～21日の2日間、グランメッセ熊本で開催された「九州食の展示商談会2013 inくまもと」へグループの加工品を初出展しました。商談会では、県外の小売りや卸業者、飲食店のバイヤーから興味をもった商品への質問があり、対話の中で、売り方のアドバイスや意見をいただけたほか、商品の価値を再認識する場面もあり、グループ員は大変参考になった様子でした。また、他地域の6次産業化に取り組む農業者や出展業者とも交流ができ、商品開発のヒントに繋がったようです。



西臼杵郡障がい者スポーツ大会

11月7日に、高千穂町武道館で平成25年度西臼杵郡障がい者スポーツ大会が開催されました。今年で9回目を迎えるこの大会は、西臼杵郡障がい者スポーツ大会実行委員会と各町役場が中心となった手作りの大会です。郡内から101名（高千穂町71名、日之影町17名、五ヶ瀬町13名）の方が参加され、スポーツを通じて障がいの区分や世代を超えた交流が行われました。

個人競技から団体競技まで様々な種目が用意され、各団優勝を目指し白熱した大会となりました。

家族や支援者が一緒に競技に参加する場面もあり、楽しく有意義な一日となりました。



第4回「明るい町づくり事業」表彰式

11月10日、第4回「明るい町づくり事業」表彰式が高千穂町商工会で行われました。この「明るい町づくり事業」は、地域活性化、明るい町づくりを目指して高千穂町商工会青年部が企画したもので、平成22年度にスタートし今回が4回目となります。

「高千穂のよいところ、PRするもの」というテーマでデザインを募集したところ、町内全ての小学校6年生と田原小学校5年生が応募し、高千穂の神々、神楽、高千穂峡など高千穂の宝をモチーフにした力作は全部で116点にのぼりました。これらの中から11の賞が選ばれ、表彰状が授与されました。

作品はすべて、小旗に印刷され、町中心部の街燈などに彩りよく取り付けられ、私たち住民や観光客のみなさんの目を楽しませてくれています。



玄武山トンネル防災訓練

トンネル内の事故発生時における関係機関相互の迅速な対応と連携強化を図るために、国道325号の玄武山トンネル（高千穂町）にて、車両の衝突炎上事故を想定した防災訓練を実施しました。訓練には、高千穂町消防団、高千穂警察署から総勢約50名が参加し、事故発生時における緊急連絡体制の確認とけが人の救出、消火、交通誘導の訓練を行いました。

トンネル内で事故が起きたときは、落ち着いて、トンネル内に設置してある非常通報ボタンで周囲に異常を知らせるとともに、直ちに110番、119番に通報してください。



高千穂町長石地区地すべり対策工事一部完成

高千穂町の林道道元越線沿いで発生している地すべり箇所については、本誌5月号にて工事を着手したところですが、地すべり箇所上部にある亀裂付近の土砂の撤去と掘削斜面を緑化する工事が10月に無事完成しました。

現在は、被災した林道法面を復旧するため、高千穂町発注の災害復旧工事において、地すべりによって崩壊した林道法面の掘削作業を実施中です。転石が多く点在している状況下での掘削作業でありますが、早期完成に向け、掘削した土砂の処理場までの運搬と、掘削した斜面の安定を図る工事等を順次実施していく予定です。工事完了までには数ヶ月かかる見込みですが、皆様方のご協力をお願い致します。



高千穂地区農業協同組合「家の光大会」

11月15日、高千穂町武道館で、JA高千穂地区女性部による「第20回 家の光大会」が盛大に開催され、約660人が参加しました。

今回は20回目となる節目の大会で、「人・JA・地域を結び 次代へつなごう 協同の力」のスローガンのもと、JA女性部が中心となって自主的に運営し開催され、「フレッシュミズの主張発表」や「記念講演」、「ごはん料理・手作り作品コンクール」、「各支部の活動発表」など、内容盛り沢山の大会となりました。

特に、「ごはん料理・手作り作品コンクール」では、「ごはん料理の部」、「農産加工の部」、「一般作品の部」、「家の光記事活用の部」の4部門に92作品の出品があり、審査員も入賞作品をどれにするか頭を悩ませるなど、各部門で工夫を凝らしたレベルの高い作品が多数出品されました。



実りの秋！今年も美味しいお酒ができそうです！

10月26日、高千穂町岩戸地区で酒米生産者と消費者との交流会が開催されました。このイベントは高千穂地区酒米生産組合と、契約先である千徳酒造（延岡市）、千徳酒造のお酒を販売している河野酒店（宮崎市）とが連携して行っており、今年で5回目を迎えます。参加者は富高文徳さん（水田で生産者の手ほどきを受けながら、酒米「はなかぐら」の収穫と掛け干し作業を体験しました。また、稻刈り後には交流会も開催され、千徳酒造の杜氏の方による説明に耳を傾けながら、西臼杵産の酒米を用いた日本酒に舌鼓を打ちました。あまり知られていませんが、西臼杵地区は県内唯一の酒米の产地です。年の始めのお祝いに、西臼杵産の酒米を使った新酒で一杯というのはいかがでしょうか。



みんなで集合写真！

楽しみながら学ぶ、親子の食育教室

10月23日に、旭ヶ丘保育園（高千穂町上野）において、みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵支部主催で「楽しみながら学ぶ、親子の食育教室」を開催しました。

講師は食育推進リーダーの竹次悦子さん、興梠ます子さん、食生活改善推進員の織田美智子さん、高千穂町保健センターげんき荘の成松哲子さんです。親子33人が参加され、オオカミをかたどったサンドイッチやカボチャのポタージュなどに仲良く挑戦しました。

参加した園児からは「オオカミの顔がむずかしかった。できた時うれしかった。」、保護者からは「包丁を使わせるのは初めてなのでいい経験になったと思う。」等の感想をいただきました。



編集後記

高千穂に冬がやってきました。先月まで半袖シャツで過ごして良い感じと思っていたのが懐かしいです。先日、さあ、ここ高千穂で初めての冬を迎えるぞ！と意気込んでコタツを用意しました。ただ、ずっと布団の中にもぐっているので、我が家のかつはあまり活躍の場がなく、寂しそうにしています。（猿）

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

○お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html